EPSON

EP-GLモジュール

取扱説明書

4012993-00
O04

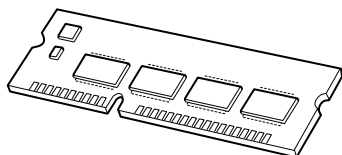
ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

もくじ

内容物の確認

このたびは、EP-GLモジュールをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、まず内容物がすべてそろっていること、各内容物に損傷のないことを確かめてください。

□EP-GLモジュール1枚

□取扱説明書（本書）1冊

不足または損傷している物がありましたら、お買い求めいただいた販売店またはお近くのエプソン販売（株）にお問い合わせください。

内容物の確認が終わりましたら、プリンタ本体の取扱説明書を参照して、EP-GLモジュールをプリンタに取り付けてください。

EP-GLモジュールの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

1

ご使用の前に

EP-GLモジュールに関する紹介と本書の見方、使い方を説明しています。本書をはじめて手にとられた方は、まず本章をお読みください。

EP-GLモジュールと本書について

本モジュールの特長と本書の使い方を紹介しています。

本モジュールの特長

- HP-GL モードをエミュレーションし、お手持ちのプリンタを HP7550A プロッタとしてお使いいただけます。
- プリンタ内蔵フォントで漢字出力ができます。
- 座標原点位置、座標回転、ミラー設定など多くの座標系操作機能があります。
- A3を超える用紙サイズの図面を縮小して印刷することができます。
- A3を超える用紙サイズの図面を複数の用紙に分割して印刷することができます。
- 仮想的に8本のペンを持ち、各ペンごとにペン幅と濃度を設定できます。
- 最大プラスマイナス 1% の補正スケーリング機能により、正確なサイズでの印刷ができます。
- 線終端処理、線接合処理機能により、実際のペンプロッタと同等な線画出力を得られます。
- 印刷解像度300/600/1200dpiに対応しています。

本モジュールが使用可能なプリンタ

本モジュールは、セイコーエプソン製のモノクロレーザープリンタに装着して使用します。プリンタの機種によっては、本モジュールは使用できません。ご使用になっているプリンタ本体の取扱説明書を参照して、本モジュールが使用可能かを確認してください。

また、本書はEP-GLモジュール単体での取扱説明書のため、お使いになられるプリンタの仕様によっては機能の一部が制限される場合があります。ご了承ください。

本書の活用方法

本書はお手持ちのエプソンレーザープリンタをプロッタとしてお使いいただくために、プリンタ本体の取扱説明書を補足する説明書です。プロッタとしてご使用いただく前に、プリンタ本体の取扱説明書をよくお読みください。また、プリンタの取扱説明書と本書は一緒に保存してご活用ください。

本書中のマークについて

マークが付いている文章は、次のような意味を表しています。

本モードで正しく動作させるための注意を記載しています。必ずお読みください。

知っておくと便利なことが記載してあります。

関連した内容の参照ページを示しています。

EP-GLモードとペンプロッタの違い

本モジュールのEP-GLモードは、実際のペンプロッタとは仕様が多少異なります。以下の違いをご理解の上、ご使用ください。

使用するペンについて

本モードでは、黒色だけが印刷できます（カラープロッタとしては使用できません）。ただし、［ペンハバ］と［ペンノウド］を設定することにより、各ペンを黒色の濃淡（グレースケール）と線幅によって区別することができます。これにより、疑似的に複数のペンを使用しているかのような印刷をすることができます。なお、ペン速度指定のコマンドは無視されます。

解像度

本来、HP7550Aプロッタは1016dpiの解像度で出力します。本モードでは内部処理をプロッタの単位系を用いて行い、これをプリンタの解像度に補正して出力します。

用紙

本モードでは、プリンタで使用できる用紙サイズがすべて使用できます。

ライン処理、パターン

本モードではペンを使用しないため、ペンプロッタにないライン補正機能があります。なお、ラインパターンによっては各線描画命令（コマンド）間ごとにパターンの連続性が異なる場合があります。詳細は以下のページをご覧ください。

☞ 本書「線属性」32 ページ

文字プロット

本モードで使用する文字書体は、ペンプロッタのものと多少異なる場合があります。

エミュレーション

本モードはデバイス制御コマンドと出力コマンドに対応していません。

印刷領域

本モードとペンプロッタの印刷領域は、若干の差異があります。このためプロット原点位置が多少異なる場合があります。

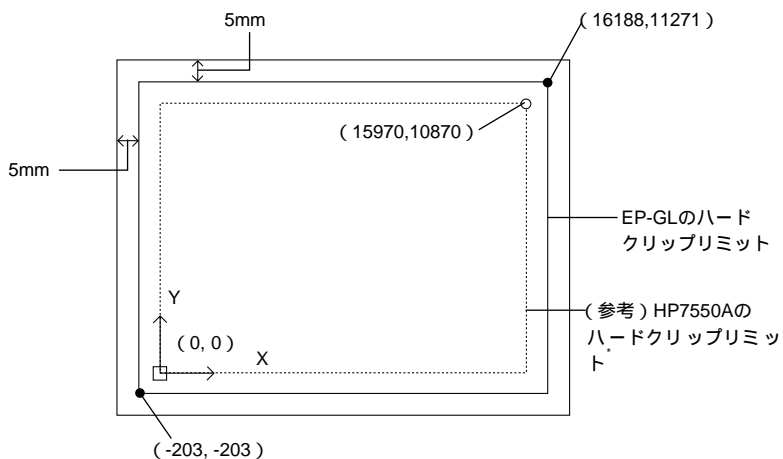
プロット限界

本モードの用紙に対する作図可能領域（ハードクリップリミット）は、プリンタの印刷可能領域に一致します。ただし、印刷結果はプロッタをエミュレーションしているため、[ゲンテンイチ] が［ヨウシスミ］に設定されているときのハードクリップリミットの最小値（x，y）は負の値となります。本モードの用紙に対する作図可能領域（ハードクリップリミット）は以下の通りです。

	原点位置＝用紙スミ				原点位置＝中央			
用紙	XMIN	YMIN	XMAX	YMAX	XMIN	YMIN	XMAX	YMAX
A0	-203	-203	46949	33030	-23576	-16616	23576	16617
A1	-203	-203	33030	23148	-16616	-11675	16617	11676
A2	-203	-203	23148	16188	-11675	-8195	11676	8196
A3	-203	-203	16188	11271	-8195	-5737	8196	5737
A4	-203	-203	11271	7789	-5737	-3996	5737	3996
A5	-203	-203	7789	5310	-3996	-2756	3996	2757
B1	-203	-203	40518	28516	-20360	-14359	20361	14360
B2	-203	-203	28516	19954	-14359	-10078	14360	10079
B3	-203	-203	19954	13953	-10078	-7078	10079	7078
B4	-203	-203	13953	9672	-7078	-4937	7078	4938
B5	-203	-203	9672	6671	-4937	-3437	4938	3437
B	-203	-203	16662	10566	-8432	-5384	8433	5385
LT	-203	-203	10566	8026	-5384	-4114	5385	4115
HLT	-203	-203	8026	4978	-4114	-2590	4115	2591
LGL	-203	-203	13614	8026	-6908	-4114	6909	4115
EXE	-203	-203	10058	6756	-5130	-3479	5131	3480
GLT	-203	-203	10058	7518	-5130	-3860	5131	3861
GLG	-203	-203	12598	8026	-6400	-4114	6401	4115
F4	-203	-203	12591	7789	-6397	-3996	6397	3996
MON	-203	-203	7010	3325	-3606	-1764	3607	1764
COM	-203	-203	9042	3579	-4622	-1891	4623	1891
DL	-203	-203	8189	3789	-4196	-1996	4196	1996
C5	-203	-203	8548	5869	-4375	-3036	4376	3036
ハガキ	-203	-203	5310	3390	-2756	-1796	2757	1797
往復ハガキ	-203	-203	7390	5310	-3796	-2757	3796	2757
洋形0号	-203	-203	3986	8788	-2094	-4495	2095	4496
洋形4号	-203	-203	3590	8788	-1896	-4495	1897	4496
洋形6号	-203	-203	3309	6990	-1756	-3596	1756	3597
長形3号	-203	-203	8788	4189	-4496	-2196	4496	2196
長形4号	-203	-203	7590	2990	-3896	-1597	3896	1597
角形2号	-203	-203	12670	8992	-6436	-4597	6436	4597
角形3号	-203	-203	10472	8030	-5337	-4116	5337	4116

- 座標原点を（0，0）とした場合の数値です。
- 単位はプロッタ単位1016dpi。
- ［EP-GLカンキョウメニュー］の［カイテンカク］の設定が［0ド］と［180ド］の場合の値です。[90ド］と［270ド］の場合は、上表のXMINとYMIN、XMAXとYMAXの値が入れ替わります。

- ［デバイスメニュー］の「ウエオフセット」、「ヒダリオフセット」の設定によって印刷領域が拡大した場合、表の値は変化します。
- 用紙A0～A2の値は、［EP-GLカンキョウメニュー］の［ジドウスケーリング」で［A0］/［A1］/［A2］のいずれかが選択された場合の値です。
- ［EP-GLカンキョウメニュー］の［ミラー］の設定には影響されません。

印刷可能領域の例：A3用紙の場合

*（参考）HP7550Aのハードクリップリミット

	原点位置＝用紙スミ			
用紙	XMIN	YMIN	XMAX	YMAX
A	0	0	10170	7840
B	0	0	16450	10170
A4	0	0	10870	7600
A3	0	0	15970	10870

- 座標原点を（0，0）とした場合の数値です。
- 単位はプロッタ単位1016dpi。

EP-GLモジュール使用時の制限事項

プリンタ設定メニューの制限事項

プリンタの操作パネルから階層設定モードで各種の設定を行うことができます。ただし、EP-GLモジュールを使用する場合、［インサツメニュー］の以下の設定項目は設定値が制限されます。

- ［シュクショウ］は、設定値に関係なく常に［OFF］として動作します。
- ［イメージホセイ］の設定値に関係なく、常にイメージ補正は行われません。
- ［ハクシセツヤク］は、設定値に関係なく常に［スル］として動作します。
- ［シフトハイシ］は、設定値に関係なく常に［シナイ］として動作します。
- ［リョウメンインサツ］*は、設定値に関係なく常に［OFF］として動作します。

  *［リョウメンインサツ］は、オプションの両面印刷ユニット装着時のみ設定できます。

その他の制限事項

EP-GLモジュールを使用する場合は、オプションのフォームオーバーレイROMモジュールを同時に使用（装着）することはできません。

2

準備

EP-GLモードを設定して、アプリケーションソフトで使用できるまでを説明します。プロッタでHP-GLを使用したことがある方も一通りお読みください。

EP-GLモードの初期状態

EP-GLモードでの初期設定値について説明します。

EP-GLモードを使用することにより、プリンタのパネル設定の設定項目およびその内容が以下のように変わります。

- ［デバイスメニュー］の［ウエオフセット］と［ヒダリオフセット］の設定により、印刷領域を拡張できます。詳しくは以下のページを参照してください。

  ☞ 本書「印刷オフセット設定と印刷領域」19 ページ
- EP-GL モードの機能設定は、パネル設定の［EP-GL カンキョウメニュー］で行います。詳しくは、以下のページを参照してください。

  ☞ 本書「EP-GLモードの使い方」13 ページ

そのほかの設定項目および内容についての詳細は、プリンタ本体の取扱説明書を参照してください。また、ステータスシートを印刷することにより、EP-GLモードでの現在のプリンタの設定状態を確認することができます。プリンタ本体の取扱説明書を参照して、ステータスシート印刷を行ってください。

［EP-GLカンキョウメニュー］の初期設定値

［EP-GLカンキョウメニュー］の初期設定値は以下の通りです。設定値を変更する場合は、参照ページの説明に従って変更してください。

設定項目	初期設定値	本書の参照ページ
コマンドモード	エンハンスト	37
漢字書体	明朝	15
原点位置	用紙スミ	18
回転角	0°	18
ミラー	OFF	18
自動スケーリング	OFF	23
任意スケーリング	OFF	25
任意倍率	100%	25
横補正	0%	26
縦補正	0%	26
ペンモード	固定1	35
ペン1幅～ペン8幅	0.30mm	35
ペン1濃度～ペン8濃度	100%	35
線終端	なし	33
線接合	なし	33
マイター長	5	33
オーバーレイ	OFF	37
SP排紙	ON	37
分割印刷	OFF	31
分割時クリップ	端	31

ソフトウェア上でのプロッタ設定

アプリケーションソフトを使用するときは、ソフトウェア上でプロッタの設定を行います。

ドライバの選択

プロッタの機能を最大限に活用するために、多くのソフトウェアではプロッタ（ドライバ）を選択できるようになっています。ご使用のソフトウェアにプロッタ選択の機能がある場合は、「HP7550A」を選択してください。

出力装置にHP7550A以外を選択した場合、印刷結果が本来のプロッタと異なることがあります。

このプロッタ名が選択できない場合は、HP7475等のHP-GL（Hewlett-Packard Graphics Language）をサポートする他のプロッタ名を選択してください。

プリンタ内蔵の漢字書体を使用する場合

プリンタ内蔵の漢字書体を利用して図面を出力することができます。プリンタ内蔵漢字書体を使用する場合は、ソフトウェア上で以下のように設定してください。

（1）漢字出力可能なHP社製のプロッタ名を選択する。
(例)
DraftPro (HP7570A)
DraftPro DXL (HP7575A)
DraftPro EXL (HP7576A)
HP7595A (B)
HP7599A
HP7600シリーズ

（2）多くのソフトウェアでは、漢字書体を線データとして扱うか、またはプロッタ内蔵フォントを使用するかを選択することができます。「プロッタ内蔵フォントを使用する」に設定してください。

続いて以下のページを参照してプリンタ側の設定を行ってください。
☞ 本書「漢字書体の設定」15 ページ

3

EP-GLモードの使い方

EP-GLモードを正しくお使いいただくために必要なことを説明します。他のプリンタやプロッタを使い慣れている方も、一通りお読みください。

パネル設定について

必要に応じて、プリンタの［EP-GLカンキョウメニュー］の設定を操作パネルで変更してください。

［EP-GLカンキョウメニュー］の設定項目および設定値は以下の通りです。

- EP-GLカンキョウメニュー
  - コマンドモード
    - エンハンスト
    - スタンダード
  - カンジショタイ
    - ミンチョウ
    - ゴシック
    - ナシ
  - ゲンテンイチ
    - ヨウシスミ
    - チュウオウ
  - カイテンカク
    - 0ド
    - 90ド
    - 180ド
    - 270ド
  - ミラー
    - OFF
    - ON
  - ジドウスケーリング
    - OFF
    - A0
    - A1
    - A2
    - A3
    - A4
    - B1
    - B2
    - B3
    - B4
    - IP
  - ニンイスケーリング
    - OFF
    - A0
    - A1
    - A2
    - A3
    - A4
    - B1
    - B2
    - B3
    - B4
  - ニンイバイリツ
    - 25～200%
  - ヨコホセイ
    - -1.00～1.00%
  - タテホセイ
    - -1.00～1.00%
  - ペンモード
    - コテイ1
    - コテイ2
    - ホセイ
  - ペン1ハバ～ペン8ハバ
    - 0.00～5.00mm
  - ペン1ノウド～ペン8ノウド
    - 0～100%
  - センシュウタン
    - ナシ
    - シカク
    - サンカク
    - マル
  - センセツゴウ
    - ナシ
    - マイター
    - マイターベベル
    - ベベル
    - マル
    - サンカク
  - マイターチョウ
    - 1～5
  - オーバーレイ
    - OFF
    - ON
  - SPハイシ
    - ON
    - OFF
  - ブンカツインサツ
    - OFF
    - A0
    - A1
    - A2
    - A3
    - B1
    - B2
    - B3
  - ブンカツジクリップ
    - ハシ
    - キントウ
    - シュクショウ

ポイント

一部のDOSアプリケーションソフトで、印刷中もしくは印刷データ待ちのときにパネル設定を変更すると「リセットシテクダサイ」と表示されることがあります。このときに正しくリセットを行わないとパネル設定で変更した内容が有効になりません。設定の変更は、印刷データ処理終了後、またはリセット後に実行してください。リセットの仕方についてはプリンタ本体の取扱説明書を参照してください。

漢字書体の設定

プリンタ内蔵の漢字書体を使って、図面出力することができます。

ソフトウェア上の設定をした後、以下の手順に従ってプリンタ側の設定を変更してください。ソフトウェア上の設定については、以下のページを参照してください。
本書「プリンタ内蔵の漢字書体を使用する場合」11 ページ

1. **［EP-GLカンキョウメニュー］を選択します。**
［設定メニュー］スイッチを数回押して、［EP-GL カンキョウメニュー］を表示します。詳しくは、プリンタの取扱説明書を参照してください。

2. **［カンジショタイ］を表示します。**
［設定項目］スイッチを押して、［カンジショタイ］を表示させます。

3. **設定値を変更します。**
［設定値］スイッチを押して、目的の書体を表示させます。選択できる書体は次の通りです。
ミンチョウ
ゴシック
ナシ

4. **設定値を確定します。**
使用したい書体を表示したら、［設定実行］スイッチを押します。設定値に＊（アスタリスク）マークが付き、設定が確定します。

5. **パネル設定を終了します。**
［印刷可］スイッチを押します。印刷可ランプが点灯し、設定は完了します。

ポイント

漢字書体を使用する場合は、ソフトウェア上のプロッタ設定を漢字出力機能をもつHP社製のプロッタに設定してください。
本書「プリンタ内蔵の漢字書体を使用する場合」11 ページ

座標系の変更

EP-GLモードでは通常の座標系（X軸、Y軸）のほかに15種類、合計16種類の座標系が使用できます。元図面データを書き替えずに、さまざまな図表を印刷できます。次の説明に従って、原点位置、回転角、ミラー設定を行い、座標系の変更をしてください。

座標原点の変更

EP-GLモードは2通りの座標原点を選択できます。原図データが大型プロッタ用であるとき、変更が必要になる場合があります。
ゲンテンイチ　：ヨウシスミ、チュウオウ

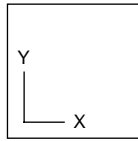
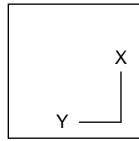
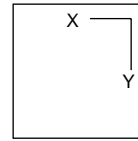
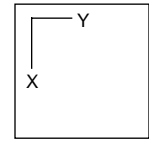
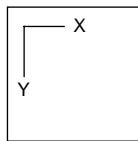
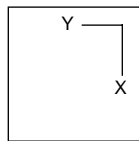
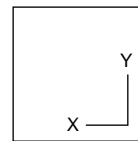
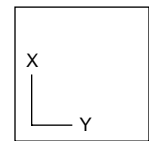
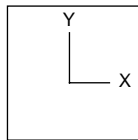
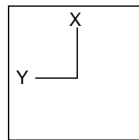
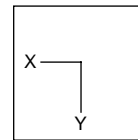
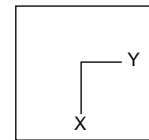
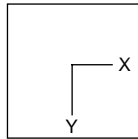
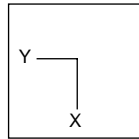
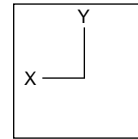
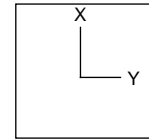
座標の回転

EP-GLモードは4通りの座標回転角を選択できます。回転方向は、反時計回りです。
カイテンカク　：0ド、90ド、180ド、270ド

座標の反転

本モードはミラー設定機能により、鏡像反転した画像（鏡に映るような左右反転した映像）が得られます。
ミラー　　　　：OFF（通常画像）、ON（反転画像）

表現できる座標系

座標原点、座標の回転、および座標の反転の組み合わせにより合計16種類の座標系が表現できます。

座標系を変更するには

1. **［EP-GLカンキョウメニュー］を選択します。**
［設定メニュー］スイッチを数回押して、［EP-GL カンキョウメニュー］を表示させます。

2. **設定項目（［ゲンテンイチ］、［カイテンカク］、［ミラー］）を選択します。**
［設定項目］スイッチを押して、目的の設定項目を表示させます。

3. **設定値を変更します。**
［設定値］スイッチを押して、目的の設定値を表示させます。選択できる設定値は次の通りです。

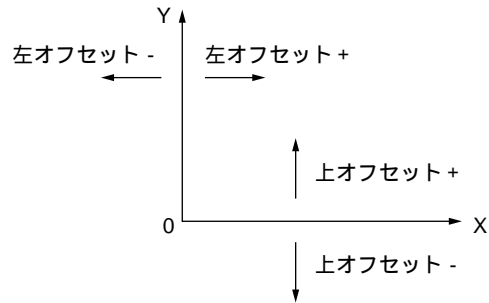
ゲンテンイチ	ヨウシスミ
	チュウオウ
カイテンカク	0 ド
	90 ド
	180 ド
	270 ド
ミラー	OFF
	ON

4. **設定値を確定します。**
使用したい設定値を表示したら、［設定実行］スイッチを押します。設定値に＊（アスタリスク）マークが付き、設定が確定します。

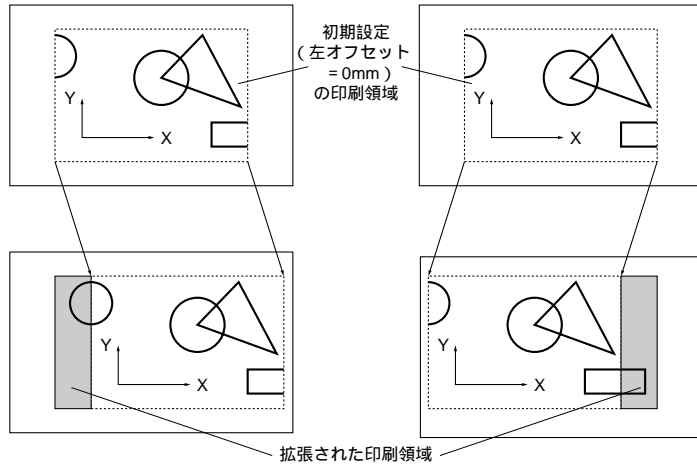
5. **パネル設定を終了します。**
［印刷可］スイッチを押します。印刷可ランプが点灯し、設定は完了します。

印刷オフセット設定と印刷領域

パネル設定［デバイスメニュー］の［ウエオフセット］および［ヒダリオフセット］の設定によって印刷領域が拡張できます。

［ウエオフセット］および［ヒダリオフセット］は、座標系に対して以下のように定義されます。

［EP-GLカンキョウメニュー］の［ゲンテンイチ］、［カイテンカク］、および［ミラー］によって設定された座標系により、印刷イメージの移動方向と印刷領域拡張方向は変わります。

［ヒダリオフセット］設定による印刷領域の拡張例

1）左オフセット：+の場合　　2）左オフセット：－の場合

縮小/拡大印刷

元図面のサイズに関係なく、プリンタで使用している用紙に合わせて縮小・拡大して印刷することができます。この機能を「スケーリング」と呼びます。

スケーリングの概要

スケーリングの機能は、以下の通りです。

スケーリング名称	元データのサイズ	倍　率	出力サイズ
自動スケーリング	A0, A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	自動設定	選択されている用紙サイズ
IPスケーリング	IP, IWコマンドによって指定された領域	自動設定	
任意スケーリング	A0, A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	25～200%の範囲で指定	

スケーリング名称	補正方向	内　容
補正スケーリング	縦補正	用紙給紙方向に対して補正 -1.00～+1.00%の範囲で指定（0.01%単位）
	横補正	用紙給紙方向の垂直方向に対して補正 -1.00～+1.00%の範囲で指定（0.01%単位）

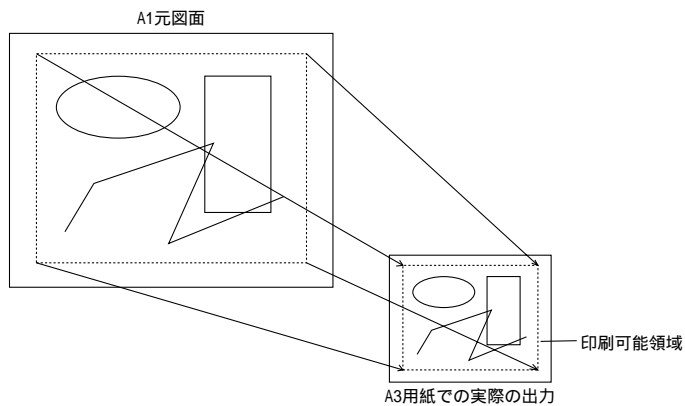
- [EP-GL カンキョウメニュー]の[ペンモード]で[ホセイ]が設定されている場合縮小率に合わせて自動的に線の幅も変化します。このとき幅が1ドット未満になってしまう場合は、1ドットの幅になります。
- [EP-GL カンキョウメニュー]の[ペンモード]で[コテイ 1]が設定されている場合は、すべての線は1ドットになります。また、[コテイ2]が設定されている場合は、[ペン1ハバ]から[ペン8ハバ]で指定されたペン幅で印刷されます。

自動スケーリングについて

元図面の内容を変更することなく、選択されている用紙サイズに合わせ縮小・拡大して印刷することができます。元図面のサイズは次の通りです。
A0, A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4

自動スケーリングの例

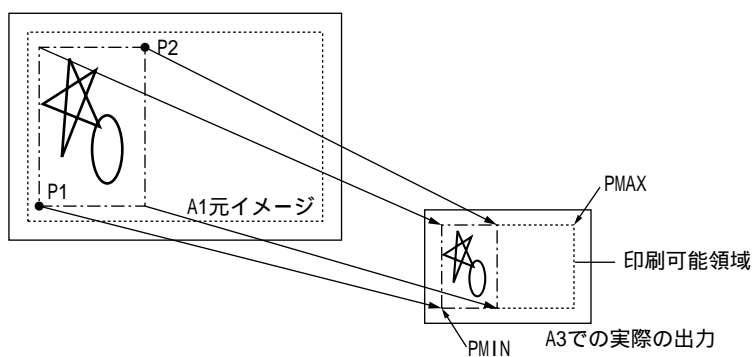
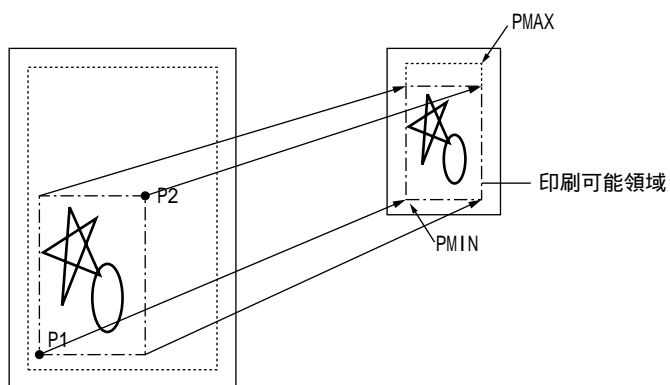
元図面のサイズがA1で、これをA3用紙に縮小して印刷する場合

- 自動スケーリング ＝A1
- 用紙サイズ ＝A3

IPスケーリングについて

EP-GLコマンドのIPもしくはIWで設定された領域を元図面として、縦横比を変えることなく、選択されている用紙サイズに縮小・拡大して印刷することができます。

IPスケーリングの例

- 自動スケーリング　＝IP
- 用紙サイズ　　　　＝A3

回転0度、ミラーなしのとき

回転90度、ミラーなしのとき

自動スケーリング/IPスケーリングの設定方法

1. **［設定メニュー］スイッチを数回押して、［EP-GLカンキョウメニュー］を表示させます。**

2. **［設定項目］スイッチを数回押して、［ジドウスケーリング］を表示させます。**

3. **［設定値］スイッチを押して、元図面のサイズを設定します。**
   自動スケーリングの場合 ： A0, A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4
   IP スケーリングの場合 ： IP

4. **［設定実行］スイッチを押して、設定値を確定します。**
   設定値に＊マークが付きます。

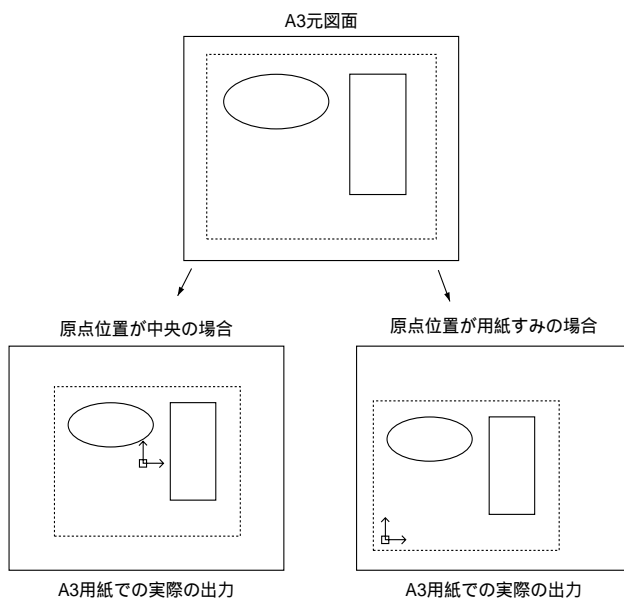
5. **［印刷可］スイッチを押します。**
   印刷可ランプが点灯し、設定は完了します。

任意スケーリングについて

元図面の内容を任意の倍率で縮小・拡大して印刷することができます。
倍率は、25～200%の範囲において1%単位で指定することができます。

任意スケーリングの例

元図面のサイズがA3で、これを80%縮小してA3用紙に印刷する場合

- 自動スケーリング　＝OFF
- 任意スケーリング　＝A3
- 任意倍率　＝80%
- 用紙サイズ　＝A3

任意スケーリングの設定方法

1. **［設定メニュー］スイッチを数回押して、［EP-GLカンキョウメニュー］を表示させます。**

2. **［設定項目］スイッチを数回押して、［ジドウスケーリング］を表示させます。**

3. **［設定値］スイッチを押して、［OFF］を表示させます。**

4. **［設定実行］スイッチを押します。**
   ＊マークが付きます。

5. **［設定項目］スイッチを押して、［ニンイバイリツ］を表示させます。**

6. **［設定値］スイッチを押して、任意の倍率を設定します。**

7. **［設定実行］スイッチを押して、設定値を確定します。**
   設定値に＊マークが付きます。

8. **［印刷可］スイッチを押します。**
   印刷可ランプが点灯し、設定は完了します。

補正スケーリングについて

図面を印刷するときに、サイズの補正をすることができます。縦補正・横補正ともに、-1.00～+1.00%の範囲において、0.1%単位で指定することができます。

- 縦補正：用紙給紙方向に対して、サイズの補正を行います。
- 横補正：用紙給紙方向の垂直方向に対して、サイズの補正を行います。

自動スケーリング、IPスケーリング、任意スケーリングのいずれかと組み合わせた場合、縮小または拡大したサイズを100%として、そのサイズに対して補正スケーリングが行われます。

補正スケーリングの設定方法

1. **［設定メニュー］スイッチを数回押して、［EP-GLカンキョウメニュー］を表示させます。**

2. **［設定項目］スイッチを押して、［タテホセイ］あるいは［ヨコホセイ］を表示させます。**

3. **［設定値］スイッチを押して、補正する倍率を設定します。**

4. **［設定実行］スイッチを押して、設定を確定します。**

5. **［印刷可］スイッチを押します。**
   印刷可ランプが点灯し、設定は完了します。

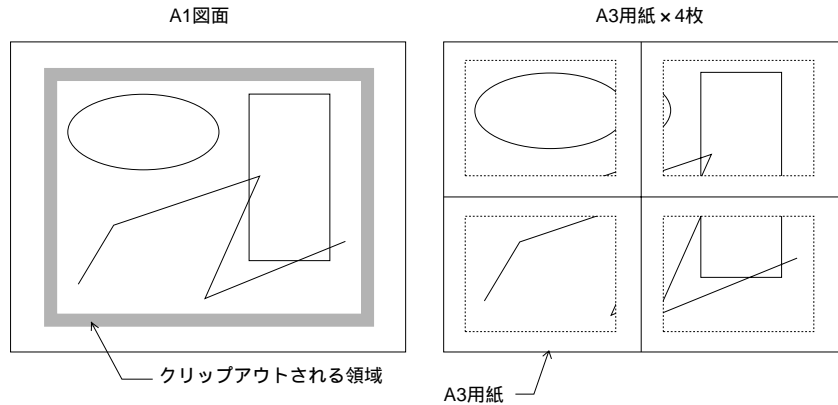
分割印刷

A3を超えるサイズの図面を、実際のサイズのままで複数の用紙に分割して印刷することができます。

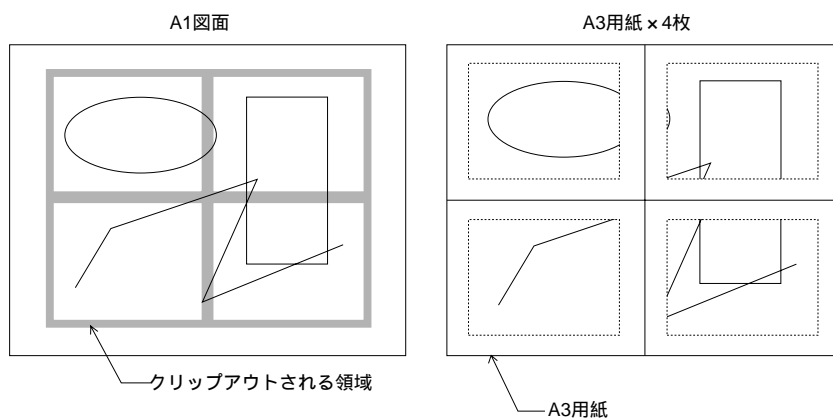
元図面を複数枚の用紙に分割して印刷すると、各用紙における印刷不可能領域の累積によって、実寸のままでは印刷できない領域が生じてしまいます。分割時クリップを設定することで、印刷できない領域の扱いを指定することができます。分割時クリップの設定は次の3種類です。

- 端クリップ
- 均等クリップ
- 縮小

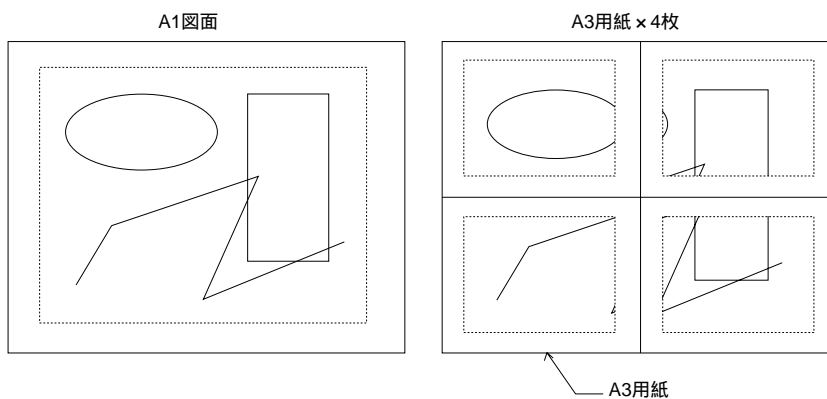
端クリップ

印刷できない図面の領域を、図面の外郭に割り当てます。

- 印刷される図面は実寸サイズです。
- 左右、上下の用紙上の図面に連続性があります。

均等クリップ

印刷できない図面の領域を、用紙ごとに均等に割り当てます。

- 印刷される図面は実寸サイズです。
- 左右、上下の用紙上の図面に連続性がありません。

縮小（縮小して分割印刷）

実寸のままでは印刷できない領域が生じてしまうので、図面全体を縮小して回避します。

- 印刷される図面は実寸サイズより小さくなります。
- 左右、上下の用紙上の図面に連続性があります。

スケーリングと分割印刷

自動スケーリング、IPスケーリング、任意スケーリングのいずれかと分割印刷を組み合わせる場合、スケーリングを行った後で［ブンカツジクリップ］の設定に従って分割印刷を実行します。

IPスケーリングと分割印刷を組み合わせた例

元図面においてIPで指定された領域をA1サイズにスケーリングし、A3用紙4枚に端クリップで分割印刷をする場合

- 自動スケーリング　＝IP
- 任意スケーリング　＝OFF
- 分割印刷　　　　　＝A1
- 分割時クリップ　　＝ハシ

元画面

P2

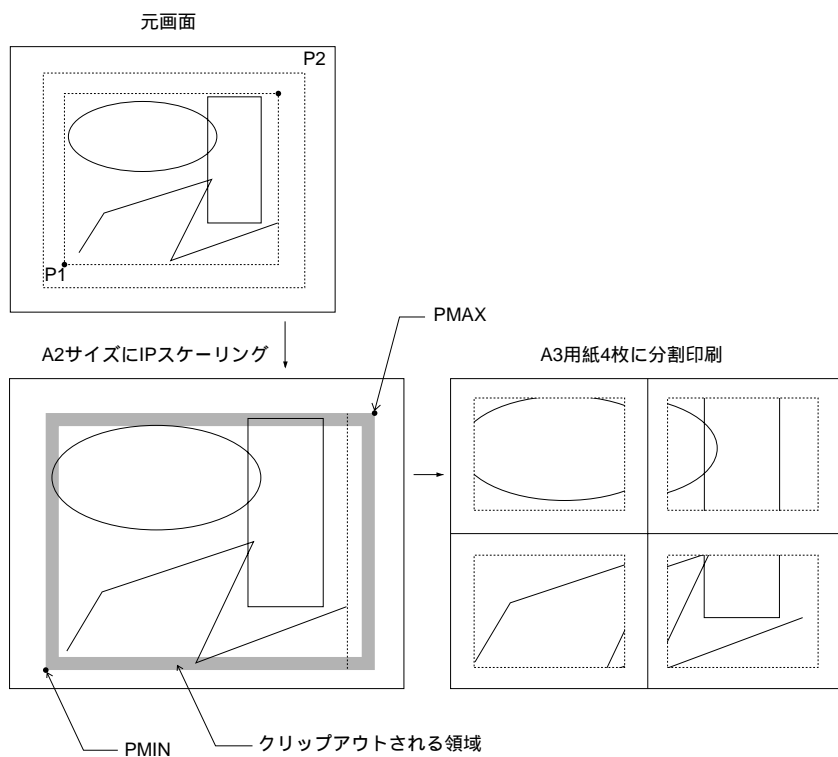
P1

PMAX

A2サイズにIPスケーリング

A3用紙4枚に分割印刷

PMIN

クリップアウトされる領域

分割印刷を実行する際は、以下の点にご注意ください。

- **元図面サイズをA0, A1, A2, A3のいずれかを選択した場合、印刷する用紙サイズはA3, A4のどちらかを選択してください。**
- **元図面サイズをB1,　B2,　B3のいずれかを選択した場合、印刷する用紙サイズはB4を選択してください。**

これらの組み合わせ以外を選択した場合は「ヨウシサイズエラー」になります。

分割印刷による[EP-GLカンキョウメニュー]への影響

分割印刷の実行により、[EP-GLカンキョウメニュー] の以下の影響が生じます。

- [ゲンテンイチ]、[カイテンカク]、[ミラー]は、[ブンカツインサツ]で設定した元図面に対して有効になります。
- [ヨコホセイ]と[タテホセイ]は、印刷される用紙に対して有効になります。
- [オーバーレイ]は、設定値に関係なく常に[OFF]として動作します。

分割印刷による設定メニューへの影響

分割印刷をすることにより、プリンタの設定メニューの以下の項目に対して影響が生じます。

- 元図面を A、B の 2 枚の用紙に分割して印刷する場合、[インサツメニュー]の[コピーマイスウ]を設定すると、Aの用紙をコピー枚数分印刷した後、Bの用紙をコピー枚数分印刷します。
- [インサツメニュー]の[ジドウハイシ]は、設定値に関係なく常に[する]として動作します。
- [デバイスメニュー]の[ウエオフセット]と[ヒダリオフセット]を設定すると、[ブンカツインサツ]で設定された元図面に対して印刷領域を拡張します。

分割印刷の設定方法

1. **［設定メニュー］スイッチを数回押して、［EP-GLカンキョウメニュー］を表示させます。**

2. **［設定項目］スイッチを数回押して、［ブンカツインサツ］を表示させます。**

3. **［設定値］スイッチを押して、元図面のサイズを設定します。**

4. **［設定実行］スイッチを押して、設定値を確定します。**
   設定値に＊マークが付きます。

5. **［設定項目］スイッチを数回押して、［ブンカツジクリップ］を表示させます。**

6. **［設定値］スイッチを押して、印刷できない領域の扱いを設定します。**
   端クリップを行う場合＝［ハシ］
   均等クリップを行う場合＝［キントウ］
   縮小（縮小して分割印刷）を行う場合＝［シュクショウ］

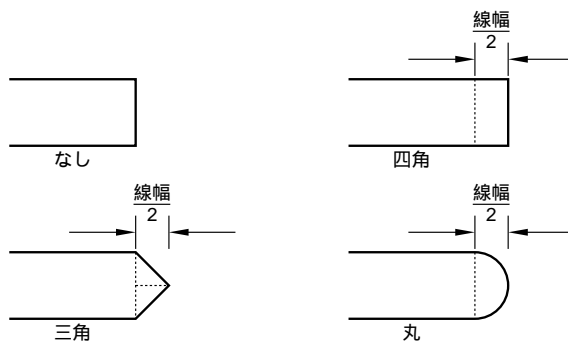
7. **［設定実行］スイッチを押して、設定値を確定します。**
   設定値に＊マークが付きます。

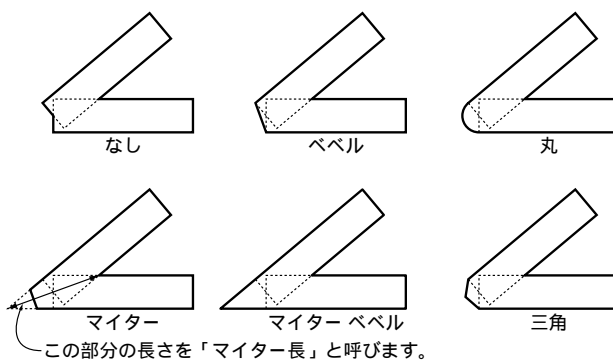
8. **［印刷可］スイッチを押します。**
   印刷可ランプが点灯し、設定は完了します。

線属性

EP-GLモードではレーザープリンタで印刷するため、実際のペンを使用するペンプロッタとは線画のイメージが異なる場合があります。線画の終端と折れ線の接合部を補正して実際のペン出力と近似させる機能がありますので、次の説明に従って線終端または線接合を設定してください。

線終端処理

線の終端部を補正します。4種類の終端処理が選択できます。

線接合処理

折れ線の接合部を補正します。6種類の線接合処理が選択できます。

マイターベベルを選択した場合、マイター長と線幅によって、マイターとベベルを自動的に切り替えます。

マイター長設定

線接合処理で、マイター、またはマイターベベルを選択したときに参照されるマイターリミット長を線幅の倍数で指定します。

線の属性を設定するには

1. **［設定メニュー］スイッチを数回押して、［EP-GLカンキョウメニュー］を表示させます。**

2. **［設定項目］スイッチを押して、目的の設定項目（[センシュウタン]、[センセツゴウ]、[マイターチョウ]）を表示させます。**

3. **［設定値］スイッチを押して、目的の設定値を表示させます。**
選択できる設定は次の通りです。

センシュウタン	ナシ
	シカク
	サンカク
	マル
センセツゴウ	ナシ
	マイター
	マイターベベル
	ベベル
	マル
	サンカク
マイターチョウ	1 〜 5

4. **［設定実行］スイッチを押して、設定値を確定します。**
設定値に＊（アスタリスク）マークが付きます。

5. **［印刷可］スイッチを押します。**
印刷可ランプが点灯し、設定は完了します。

ペンの設定

EP-GLモードでは図形の描画に実際のペンは使用しませんが、最大8本の仮想的なペンを持つことができます。それぞれのペンは独立しており、それらを同時に使用することによってペンプロッタ同様の操作と図形の描画ができます。次の説明に従って、ペンの設定を行ってください。

ペンの幅と自動スケーリング機能について

自動スケーリング機能によって縮小、拡大を行う場合、ペン幅（線の幅）指定の仕方は次の3通りがあります。

- [ペンモード]を[ホセイ]に設定した場合:
  縮小率に合わせて、線の幅も変化します(最小値は1ドット)。
- [ペンモード]を[コテイ1]に設定した場合:
  すべてのペンは1ドット幅に固定されます。
- [ペンモード]を[コテイ2]に設定した場合:
  すべてのペンは[ペン1ハバ]～[ペン8ハバ]で設定したペン幅に固定されます。

ペンの本数

ペン1～ペン8まで8本のペンが使用できます。ペンごとにペン幅とペンの色（濃度）を設定することができます。

ペンの幅

0.0～5.0mmの範囲内で0.05mm刻みの設定ができます。

ポイント

0.0mmを選択した場合は、1ドット幅となります。

ペンの色（濃度）

使用できるのは黒のみです。黒の濃淡でペンの色を表現します。0～100%の範囲内で1%刻みの濃度設定ができます。

ポイント

0%を選択したペンは、何も描画しません。

線の属性を設定するには

1. **［設定メニュー］スイッチを数回押して、［EP-GLカンキョウメニュー］を表示させます。**

2. **［設定項目］スイッチを押して、目的の設定項目（［ペンモード］、［ペン1ハバ］～［ペン8ハバ］、［ペン1ノウド］～［ペン8ノウド］）を表示させます。**

3. **［設定値］スイッチを押して、目的の設定値を表示させます。**
   選択できる設定は次の通りです。

ペンモード	コテイ 1
	コテイ 2
	ホセイ
ペン 1 ハバ	0 ～ 5.0mm（0.05mm 刻み）
ペン 1 ノウド	0 ～ 100%（1% 刻み）
ペン 2 ハバ	0 ～ 5.0mm（0.05mm 刻み）
ペン 2 ノウド	0 ～ 100%（1% 刻み）
：	：
ペン 8 ハバ	0 ～ 5.0mm（0.05mm 刻み）
ペン 8 ノウド	0 ～ 100%（1% 刻み）

ポイント
［ペン1ハバ］～［ペン8ハバ］、［ペン1ノウド］～［ペン8ノウド］の設定は、［ペンモード］が［コテイ1］に設定されている場合は無視されます。

4. **［設定実行］スイッチを押します。**
   設定値に＊（アスタリスク）マークが付き、設定が確定します。

5. **［印刷可］スイッチを押します。**
   印刷可ランプが点灯し、設定は完了します。

その他の設定項目

EP-GLモードにはプロッタとして使用するために、次のような特殊な機能があります。必要に応じて設定してください。

コマンドモード

HP7550Aでは、操作パネルの［EP-GLカンキョウメニュー］により動作モードを［エンハンスト］（初期設定）または［スタンダード］のいずれかを選択できます。モードを変更することで、HP-GLコマンド（DL、IW、UC）の引数解釈の仕方が変更できます。

アプリケーションの出力プロッタの指定を7550A以外の機種（HP7475Aなど）にしていて、望ましい印刷結果を得られなかった場合、［コマンドモード］を［スタンダード］に設定することで解決できることがあります。

オーバーレイ

受信したデータの処理を終えた後の排紙方法について設定する機能です。［オーバーレイ］には、［ON］と［OFF］があります。それぞれの排紙方法は以下の通りです。

- ［オーバーレイ］が［ON］の場合：
  パネルの［排紙］スイッチだけで排紙します。［排紙］スイッチ以外では排紙しません。
- ［オーバーレイ］が［OFF］の場合：
  受信データを全て処理終了後、排紙コマンド（AH等）の受信により排紙します。

SP排紙

SP；または、SP0；コマンドを受信したときに排紙するか（ON）、排紙しないか（OFF）を設定します。

- ［SPハイシ］が［ON］の場合：
  SP;または、SP0;コマンドを受信すると排紙します。［オーバーレイ］の設定が［OFF］の場合には、これらのコマンドを受信すると排紙します。
- ［SPハイシ］が［OFF］の場合：
  ［オーバーレイ］の設定通りの排紙になります。ただし、オーバーレイの設定が［OFF］の場合には、SP;または、SP0;コマンドを除く排紙コマンドを受信したときに排紙します。

特殊な機能を設定するには

1. **［設定メニュー］スイッチを数回押して、［EP-GLカンキョウメニュー］を表示させます。**

2. **［設定項目］スイッチを押して、目的の設定項目（［コマンドモード］、［オーバーレイ］、［SPハイシ］）を表示させます。**

3. **［設定値］スイッチを押して、目的の設定値を表示させます。**
選択できる設定は次の通りです。

コマンドモード	エンハンスト
	スタンダード
オーバーレイ	OFF
	ON
SP ハイシ	ON
	OFF

4. **［設定実行］スイッチを押します。**
設定値に＊（アスタリスク）マークが付き、設定が確定します。

5. **［印刷可］スイッチを押します。**
印刷可ランプが点灯し、設定は完了します。

4

困ったときは

EP-GLモードが思うように動作しないとき、操作上で困ったときにはお買い求めいただいた販売店またはインフォメーションセンターへお問い合わせになる前に、この章をお読みください。プリンタの取り扱いなど、ここに記載されていない項目についてはプリンタ本体の取扱説明書を参照してください。また、インフォメーションセンターのご相談先は裏表紙に記載してあります。

故障かな？と思ったら

EP-GLモードが思うように動作しないときや操作上で困ったときには、お買い求めいただいた販売店またはインフォメーションセンターへお問い合わせいただく前に、次の各項目を確かめてください。各項目の処置方法の上から順に確認して、当てはまらない場合は次へ進んでください。

本書ではEP-GLモードに依存する問題について対策を説明しています。プリンタ本体に関係する問題も考えられますので、プリンタ本体の取扱説明書も参照してください。

プリンタの診断

EP-GLモードが思うように動作しないときや操作上で困ったときは、その状況によって対策が異なります。現在の状況がどれに当てはまるか、次の3つのうちから選んでください。

問　題	結　果
プリンタの準備段階で問題があった。 （ホストから描画するデータを送る前）	パネルの設定ができない。 メッセージでエラーが発生したことがわかった。 本書「準備段階の問題」41 ページ
印刷しようとしたら問題が発生した。 （データを送ったが印刷できない）	エラーが発生したため印刷できない。 本書「印刷しようとしたときの問題」41 ページ
印刷した結果に問題があった。 （印刷はできたが、思い通りの結果にならない）	設定とは違う印刷をした。 プロットに使用したペンに問題がある。 本書「印刷した結果の問題」42 ページ

準備段階の問題

パネルの設定ができない	
原因	処置
データランプが点灯中は設定できません。	データ ランプ消灯中に設定してください。詳しくはプリンタの取扱説明書を参照してください。
プリンタをインターフェイス自動切り替えで使用中は、正しく設定できない場合があります。	EP-GL モードを使用するインターフェイスを選択してから、パネルの設定を行ってください。

印刷しようとしたときの問題

排紙しない	
原因	処置
ホスト側が排紙コマンドを送らない場合があります。	データを送るごとに、一旦印刷不可状態にしてから[排紙]スイッチを押してください。
オーバーレイ機能がONになっています。	[EP-GLカンキョウメニュー]の[オーバーレイ]を[OFF]に設定してください。
オーバーレイ機能はONなのに排紙してしまう	
原因	処置
[インサツメニュー]の[ジドウハイシ]が[スル]に設定されています。	[ジドウハイシ]を[シナイ]に設定してください。 ☞ プリンタの取扱説明書参照
白紙を1枚排紙してしまう	
原因	処置
アプリケーションが排紙コマンドと同時に、SP0; もしくはSP; コマンドを送っています。	[EP-GL カンキョウメニュー]の[SP ハイシ]を[OFF]に設定してください。

印刷した結果の問題

何も印刷しない	
原因	処置
使用しているペンの濃度が0%に設定されている場合があります。	使用するペンが適当な濃度を持つよう、[ペン1ノウド]～[ペン8ノウド]を設定してください。

印刷結果が小さすぎる	
原因	処置
自動スケーリング機能の元図面サイズが大きすぎる場合があります。	元図面サイズが正しくなるよう[ジドウスケーリング]を設定してください。

図面の一部しか印刷しない	
原因	処置
用紙サイズが元図面サイズに対して小さい場合があります。	用紙サイズを大きく設定するか、自動スケーリング機能を使用して縮小印刷をしてください。

図面の方向（座標軸）がおかしい	
原因	処置
元図面データとパネルで設定した座標軸が一致していません。	[ゲンテンイチ]、[カイテンカク]、[ミラー]の機能を使用して、正しく印刷できる座標を設定してください。

線幅（ペン幅）がおかしい	
原因	処置
使用しているペンが不適当な幅（または濃度）に設定されている場合があります。	適度な幅（または濃度）になるよう、[ペン1ハバ]～[ペン8ハバ]（または[ペン1ノウド]～[ペン8ノウド]）を設定してください。
[ペンモード]が[コテイ1]（購入時設定）に設定されていると、線の幅は[ペン1ハバ]～[ペン8ハバ]の設定にかかわらず、1ドット幅に固定されます。	[ペンモード]を[コテイ2]または[ホセイ]に設定してください。
自動スケーリング機能使用中は、ペン補正を正しく行っていない場合があります。	[ペンモード]で[ホセイ]を選択している場合は、印刷の拡大、縮小に合わせて線幅（ペン幅）も変化します。[ペンハバ]で設定した値に固定したい場合は、[ペンモード]を[コテイ2]に設定してください。

折れ線がなめらかでない	
原因	処置
線の接合形状が、適当でない場合があります。	[センセツゴウ]を使用して、図面に合った接合形状を選択してください。

線がグレーに印刷されてしまう	
原因	処置
プリンタがトナーセーブの状態になっています。	[デバイスメニュー]の[トナーセーブ]を[シナイ]に設定してください。

付録

EP-GLコントロールコード一覧表

機　能	コントロールコード
絶対座標円弧プロット	AA
1ページ紙送り	AF
半ページ紙送り	AH
相対座標円弧プロット	AR
ラベル用の文字列をストア	BL
補助文字セットを選択	CA
円プロット	CI
文字セットモードを指定	CM
文字数単位指定によるペン位置移動	CP
標準文字セットを選択	CS
AA/AR/CIコマンドの描画分解能のパラメータ種類選択	CT
標準値状態設定	DF
絶対文字方向指定	DI
ダウンロード文字セットを定義	DL
相対文字方向指定	DR
文字スロットに文字セットを指定	DS
文字列ターミネータ指定	DT
絶対座標短形プロット	EA
定義多角形輪郭プロット	EP
相対座標短形プロット	ER
文字間隔/行間隔設定	ES
扇形輪郭プロット	EW
定義多角形塗りつぶしプロット	FP
塗りつぶしタイプ選択	FT
初期値設定	IN
スケーリングポイント設定	IP
文字スロットをコードテーブルに呼び出す	IV
ウインドウ(ソフトクリップリミット)の設定	IW
文字プロット	LB
文字プロット揃え選択	LO
線の種類選択	LT
NotReady状態設定	NR
絶対座標ペン移動	PA
ラベルバッファ内の文字列をプロット	PB
ペンダウン状態でのペン移動	PD
1ページの紙送り	PG
多角形定義モード指定	PM
相対座標ペン移動	PR
用紙サイズの指定	PS
塗りつぶし間隔指定	PT
ペンアップ状態でのペン移動	PU
絶対座標短形塗りつぶしプロット	RA

機　　能	コントロールコード
座標系回転	RO
リプロット	RP
相対座標短形プロット	RR
代替文字セット指定	SA
スケーリング指定	SC
絶対文字サイズ指定	SI
斜体文字指定	SL
シンボルモード指定	SM
ペン選択	SP
相対文字サイズ指定	SR
標準文字セット指定	SS
軸目盛り長設定	TL
ユーザー定義文字作成	UC
ユーザー定義塗りつぶしタイプ指定	UF
扇形塗りつぶしプロット	WG
X軸目盛りプロット	XT
Y軸目盛りプロット	YT

本機では無視されるEP-GLコントロールコード

機　　能	コントロールコード
自動的なペンの動作機能を設定	AP
リプロットバッファにHP-GL命令をストア	BF
文字分解能設定	CC
カーブラインジェネレータの制御	CV
ディジタイズモードをクリア	DC
ディジタイズモードを設定	DP
用紙カット機能を制御	EC
長軸作図指定	FR
ペン圧を指定	FS
グループカウント番号を指定	GC
バッファサイズの変更	GM
ペンのグループを設定	GP
OBコマンドで出力させる文字を指定	IC
マスク値設定	IM
ファンクションキーに機能を割り付ける	KY
現在のペン位置と状態を出力	OA
ICコマンドで指定された文字の位置を出力	OB
現在のプロット位置と状態を出力	OC
ディジタイズした座標値の出力	OD
エラー出力	OE
1mmあたりのプロッタユニット数出力	OF
グループカウントの番号と状態の出力	OG
ハードクリップリミット出力	OH
機種別コード出力	OI
最初に押されたファンクションキーの番号出力	OK
ラベルバッファ内の文字列の情報出力	OL
オプション状態出力	OO
スケーリングポイントの出力	OP
ステータス出力	OS
現在のカルーゼル型とストールの占有状態の出力	OT
ウィンドウ領域の座標値の出力	OW
GPコマンドで指定されたグループを選択	SG
プロット速度自動調整	VA
VAコマンドの解除	VN
プロット速度の指定	VS
パネルのディスプレイへの文字列表示	WD

コード表

ANSI ASCII

	20	30	40	50	60	70
0		0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	"	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	'	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	{
C	,	<	L	\	l	|
D	-	=	M	]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	

HP9825

	20	30	40	50	60	70
0		0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	"	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	'	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	π
C	,	<	L	√	l	├
D	-	=	M	]	m	→
E	.	>	N	↑	n	~
F	/	?	O	_	o	

フランス／ドイツ

	20	30	40	50	60	70
0		0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	"	2	B	R	b	r
3	£	3	C	S	c	s
4	$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	´	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	¨
C	,	<	L	ç	l	°
D	-	=	M	]	m	¨
E	.	>	N	^	n	'
F	/	?	O	_	o	

スカンジナビア

	20	30	40	50	60	70
0		0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	"	2	B	R	b	r
3	£	3	C	S	c	s
4	$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	'	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	Ø	k	¨
C	,	<	L	Æ	l	°
D	-	=	M	ø	m	¨
E	.	>	N	æ	n	°
F	/	?	O	_	o	

スペイン／ラテンアメリカ

	20	30	40	50	60	70
0		0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	"	2	B	R	b	r
3	¿	3	C	S	c	s
4	$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	´	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k̃	
C	,	<	L	¡	l	~
D	-	=	M	]	m̃	
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	

JIS ASCII

	20	30	40	50	60	70
0		0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	"	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	'	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	{
C	,	<	L	¥	l	|
D	-	=	M	]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	

ローマ字

	20	30	40	50	60	70
0		¯	â	Å	Á	Þ
1	À		ê	î	Ã	þ
2	Â		ô	Ø	ã	
3	È	•	û	Æ	Đ	
4	Ê	Ç	á	å	đ	
5	Ë	ç	é	í	Í	
6	Î	Ñ	ó	ø	Ì	–
7	Ï	ñ	ú	æ	Ó	¼
8	´	¡	à	Ä	Ò	½
9	`	¿	è	ì	Õ	ª
A	^	¤	ò	Ö	õ	º
B	¨	£	ù	Ü	Š	«
C	~	¥	ä	É	š	□
D	Ù	§	ë	ï	Ú	»
E	Û	ƒ	ö	ß	Ÿ	±
F	£	¢	ü	Ô	ÿ	

カタカナ

	20	30	40	50	60	70
0		ｰ	ﾀ	ﾐ		
1	｡	ｱ	ﾁ	ﾑ		
2	｢	ｲ	ﾂ	ﾒ		
3	｣	ｳ	ﾃ	ﾓ		
4	､	ｴ	ﾄ	ﾔ		
5	･	ｵ	ﾅ	ﾕ		
6	ｦ	ｶ	ﾆ	ﾖ		
7	ｧ	ｷ	ﾇ	ﾗ		
8	ｨ	ｸ	ﾈ	ﾘ		
9	ｩ	ｹ	ﾉ	ﾙ		
A	ｪ	ｺ	ﾊ	ﾚ		
B	ｫ	ｻ	ﾋ	ﾛ		
C	ｬ	ｼ	ﾌ	ﾜ		
D	ｭ	ｽ	ﾍ	ﾝ		
E	ｮ	ｾ	ﾎ	ﾞ		
F	ｯ	ｿ	ﾏ	ﾟ		

特殊シンボル

	20	30	40	50	60	70
0		0	@	_	`	±
1	!	1	⊡	ˌ	∩	∓
2	"	2	⊙	R	⊃	→
3	#	3	▲	S	⊂	↑
4	$	4	+	T	∪	←
5	%	5	×	U	¯	↓
6	&	6	◇	V	≡	∫
7	'	7	↑	W	≅	÷
8	(	8	⧗	X	≈	*
9	)	9	Z	Y	~	∇
A	*	:	Y	Z	≤	•
B	+	;	⌘	[	≥	{
C	,	<	✳	\	≠	|
D	-	=	⧖	]	Δ	}
E	.	>	ı	^	Π	~
F	/	?	✱	_	Σ	

ISO Sets

ISO Setsの各コード表はANSI ASCIIコード表の該当コード部分が次の文字になります。

コード表名 ＼ コード	23	24	27	40	5B	5C	5D	5E	5F	60	7B	7C	7D	7E
IRV	#	¤	'	@	[	\	]	^	_	`	{	|	}	‾
Swedish	#	¤	'	@	Ä	Ö	Å	^	_	`	ä	ö	å	‾
Swedish for names	#	¤	'	É	Ä	Ö	Å	Ü	_	é	ä	ö	å	ü
Norwegian Version 1	#	$	'	@	Æ	Ø	Å	^	_	`	æ	ø	å	‾
German	#	$	'	§	Ä	Ö	Ü	^	_	`	ä	ö	ü	ß
French	£	$	'	à	°	ç	§	^	_	`	é	ù	è	¨
British	£	$	'	@	[	\	]	^	_	`	{	|	}	‾
Italian	£	$	'	§	°	ç	é	^	_	ù	à	ò	è	ì
Spanish	£	$	'	§	¡	Ñ	¿	^	_	`	°	ñ	ç	~
Portuguese	#	$	'	§	Ã	Ç	Õ	^	_	`	ã	ç	õ	°
Norwegian Version 2	§	$	'	@	Æ	Ø	Å	^	_	`	æ	ø	å	|

漢字コード表

漢字コード表はプリンタのオプション「ESC/Pageリファレンスマニュアル」の「ESC/Pageコントロールコード/エプソンJIS90漢字横書き」を参照してください。